

令和4年度 在宅歯科医療連携室整備事業 第2回 歯・口腔に関わる在宅療養支援サポート研修会

当会では在宅歯科医療を推進するため、道内3次医療圏域すべてに在宅歯科医療連携室を設置し、多職種との協働関係構築を目的とした業務を推進しており、本事業の一環として標記研修会を開催いたします。

本研修会では、長年、嚥下障害診療の現場でご活躍されている高橋 浩二先生をお迎えし、嚥下障害の診断法および対処法を学ぶべく、下記日程のとおりご案内いたします。会員の先生およびスタッフ（歯科衛生士など）のご参加をお待ちしております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、本研修会はオンライン（Zoomウェビナー）での開催とし、診療所や自宅の個人PC、スマートフォン、タブレットなどから受講いただけます。ただし、診療所、自宅にてPC、スマートフォン、タブレットなどが使えない方のために、一部サテライト会場を設置する予定となっております。お申込みなど詳細につきましては、裏面に掲載しておりますので、確認の上お申込みください。

日 時：令和4年10月1日（土）15：00～16：30



演題：大学専門診療科における嚥下障害のアプローチ
—昭和大学歯科病院口腔機能リハビリテーション科の場合—

講師：医療法人徳洲会館山病院
口腔機能リハビリテーションセンター センター長
昭和大学名誉教授
高橋 浩二

抄録：講演では創意工夫を凝らした当科の診断法および対処法に、外来診療、教育入院、訪問診療の取り組みをご紹介します。

私は1990年から1992年に米国のMichael Groher先生に師事し、嚥下障害の診断と対応を学び、帰国後から現在に至るまで嚥下障害の臨床に全力を注いできました。また、日本摂食嚥下リハビリテーション学会の医療検討委員会委員を現在まで20年程務める機会を頂き、日本を代表する摂食嚥下のエキスパートの先生方とディスカッションを重ねながら診断法から訓練法まで数多くのガイドラインを作成してまいりました。これらの経験を踏まえ、講演では皆様に明日から役立つ有益な情報をお伝えします。また超高齢社会のフロントランナーのわが国において、歯科医師が知っておくべき「高齢者と薬剤」についての情報もお伝えします。

- ▽受講料：無料
- ▽対象者：歯科医療従事者
- ▽定員：450名
- ▽申込方法：受講場所により2通りございます。
詳しくは裏面をご覧ください。

参加方法は①診療所や自宅での参加 ②サテライト会場で受講の2通りです

①診療所や自宅から参加

お申込みは9月21日まで

スマートフォン・タブレットなどQRコードよりお申込みの方



パソコンなどURLより
お申込みの方

北海道歯科医師会HP「連携室サポート研修会」よりお申込みください。
<https://www.hokkaido-shikaishikai.com/support/>

○申込み方法

上記QRコードまたはURLより当日お使いになるデバイスにて使用のメールアドレスをご登録ください。お申込み完了メールが届かない場合、ご登録のメールアドレスが間違っている可能性がございますので、再度お申込みください。

②サテライト会場から参加

お申込みは9月19日まで

○申込み方法

上記①での参加が難しい方のために、一部サテライト会場を設置いたします。サテライト会場を受講を希望される方は、下記サテライト設置会場を確認の上、希望会場設置の郡歯会宛にFAXにてお申込みください。各会場定員を設けており、お申込み多数の場合は、先着順にて受付となりますので、ご了承ください。

郡歯会	定員	会場住所	申込先FAX
道歯	40名	北海道歯科医師会 (札幌市中央区北1条東9丁目11番地)	011-271-7514
空知	10名	ホテル三浦華園 (滝川市花月町1丁目2番26号)	0125-24-6672
小樽	10名	小樽市歯科医師会 (小樽市稲穂2丁目1番14号)	0134-27-4070
十勝	10名	十勝歯科医師会 (帯広市東7条南9丁目15-3)	0155-22-8024
釧路	25名	釧路歯科医師会 (釧路市城山2丁目2番15号)	0154-41-4624

サテライト受講申込書 (FAXにてお申込みください)

会場名：	氏名：
TEL：	勤務先：
所属郡歯会名：	職種：

お問い合わせ先：北海道歯科医師会 在宅歯科医療連携室 (担当 杉本 未里)
TEL：011-231-0945 E-mail：sugimoto@doushi.net